

トップニュース

保護司の主な活動に、執行猶予期間中の人や、少年院や刑務所など矯正施設の仮退院者、仮出所者を対象にした保護観察がある。月2回ほど自宅などで面接を行い、保護観察期間中の約束事や生活の指針を守る約

「保護司を訪ねて①」
 京都府京都市中京区・浄光寺住職の北條悟さん(87)は、保護司を引退する父・秀明さんの後を受け継ぎ、38歳という若さで保護司となった。

父の勧めもあり、若い時から青年ボランティアのBBS会に入り、非行などさまざまな生きづらさを抱える青少年を支援する活動に参加した経験も持つ。「人権とは何かを強く考えて生きてきた。また、阪神・淡路大震災では宗教者とボランティア活動の関わりを深く考えさせられた。困難な状況に置かれた人々を看過することはできない。そうした人々に寄り添いたいという思いが積み重なって、保護司を引き受けた」と話す。

「保護司を訪ねて①」
 京都府京都市中京区・浄光寺住職の北條悟さん(87)は、保護司を引退する父・秀明さんの後を受け継ぎ、38歳という若さで保護司となった。

「社会復帰を支援していく伴走者」

犯罪や非行のない地域社会を



北條 悟 さん 京都市中京区・浄光寺住職

本願寺派更生保護事業協会 僧侶・寺族・門信徒1250人が所属

浄土真宗本願寺派更生保護事業協会
 保護司法が制定された1950年に設立。登録する保護司は約1,250人(僧侶約600人、寺族約200人、門信徒約450人)。北海道、東京、福井、滋賀、大阪、山陰、備後、安芸、福岡、大分の10教区に支部があり、各支部で研修を行うほか、全国保護司研修会を開くなどして研さんを深めている。

社会復帰はあくまで本人の努力であり、保護司はそれを支援する立場。寄り添い、その更生と社会復帰を支援していく。言わば伴走者のようなもの。「自分が対象者を更生させ、社会復帰させた」と語るとは決して思っていないと強調する。思いが伝わらず、面接して目もたない中、事件を起した対象者もいたという。「あの時は本当に良かった」と嘆息する。逆に、仕事に就き、順調に社会復帰を果たしている人に出会うと喜びがあふれる。ただ、そうした人には「これであなたと私の関係は終わった。だから、これから私と会うことも、会釈くらいはいいけど、近づいて話しかけたりしたらだめ」と伝える。自立を促すの「冷たい言葉」である。「そう言っても、近況報告の手紙や電話をくれたりする人もいる。そんな時はやはりうれしい。相手との間にしっかりと人間関係が築けたと思う。これからは真面目に生きていく。これからは保護司の活動を継続していく」と力強く語った。

本願寺新報 hongwanji journal

9月20日(土曜日) 毎月1日・10日・20日発行

発行所 本願寺新報社
 京都市下京区堀川通花屋町下ル 浄土真宗本願寺派(西本願寺) 千600-8501 本願寺出版社内
 電話 075(371)4171(代) / FAX075(341)7753

浄土真宗本願寺派提携代理店
株式会社 プラニ
 寺院災害保険・寺院活動行事保険・あんしん収入補償保険
 あんのん医療保険・加盟補償火災保険
0120-37-0243
<https://www.purani-hongwanjihahoken.com>

今号の紙面

- 島根の寺院が離郷門徒の集い… 2
- 法座と催し…………… 2
- 終戦80年「つ・な・ぐ」…………… 7
- 本派スカウトキャンポリー…………… 8
- 季刊せいてん「秋の号」発刊…………… 8

- みんなの法話…………… 4
- 学ぶ親鸞聖人 ご生涯×教え…………… 5
- お釈迦さまの前世物語…………… 3
- 季節の養生と薬膳…………… 3
- 本願寺インスタ倶楽部…………… 3
- 読者のひろば(俳壇・歌壇)…………… 7

赤光 白光
 「子どもの笑い声が聞こえない街は滅びる」。ギリシャに古くから伝わる言葉である。現代日本において、これが現実になってきている。総務省が2024年10月に出した人口推計によると、1年間で、日本人は約89万人減っている。国が想定したスピードより、15年ほど早く少子化が進行している。▼2018年におきた「目黒女児虐待事件」。5歳の幼児の尊い命が失われた。ノートに残された「もうおねがい、ゆるして、ゆるしてください」の言葉。世間は親を責め、厳罰化を望み、犯人探しに終始した。その後、通告義務など、さまざまな取り組みがなされているが、虐待は減っていない。虐待をする「個(親)」を向こう側の悪として追い詰めると、より隠そうとし、深刻な状況になるまで発見されなくなる。▼そもそも人間は、一人で子育てではできない。社会全体で子どもを育て「共同養育」を行ってきた。しかし、社会環境が変わった。子育てで、何かあったら親は責められることが浸透した。「さるべき業縁のよほさは、いかなるふるまひもすべし」とは『歎異抄』の言葉だ。核家族化が進み、「孤育て」という、さるべき業縁により、虐待は起きている。▼フランスでは、2007年に法律を変え、親を追い詰める「虐待」という言葉をなくし、「心配」とした。心配が減るように、社会が責任を持って支え続け、少子化が好転した。子育ては大変、でも、支えてくれる人がいて、よるこびもたくさんある。日本でも、若者がそう思えるように、できることはきっとある。

購読料 1部120円(年間4,080円) 定期休刊 7月10日、12月10日
 浄土真宗本願寺派 代表電話 宗務所 075(371)5181 / 大谷本願 075(531)4171
 宗派公式Webサイト <https://www.hongwanji.or.jp>
 本願寺ホームページ <https://www.hongwanji.kyoto>

MIDO SAN 2025 11

●特集 **装い文化の履歴書**
 化粧文化研究家 山村博美 服飾史家 中野香織
 ●装束 松村薫子
 ●私の四苦八苦 穴戸 開

御堂さん編集部
 〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-3
 TEL 06-6261-6796 FAX 06-6261-6828
 E-mail: midosan-koudoku@kitamidoro.jp

探究社 <https://www.tankyusha.co.jp>

2026(令和8)年版
ほのぼのカレンダー
 A3・30頁・42×28cm
 2026(令和8)年版 ほのぼのほのぼの(お正月)をテーマにした、お正月の風景や行事、お正月の言葉や歌など、お正月の心算を助けるカレンダーです。お正月の心算を助けるカレンダーです。お正月の心算を助けるカレンダーです。

新装改訂版
癌告知のあとで
 B6判 244頁 1,440円
 がん告知、その後の生活、その心算を助ける。がん告知、その後の生活、その心算を助ける。がん告知、その後の生活、その心算を助ける。

〒520-0027 大津市錦織2丁目9-30-101
 TEL 077(599)4201 FAX 077(599)4220
 【e-mail】post@tankyusha.co.jp

法蔵館 <https://pub.hozokan.co.jp>

蓮如教団論
 金剛 静正 一五〇〇円
 蓮如から宗祖までの各生主の事跡を軸に、戦国期本願寺教団の歴史と実像を、組織構造や法門類などの視点から多角的に描き出す。

独語集「校訂版」
 鎌倉 隆徳 一、一〇〇円
 著者自筆原稿を基に、校訂版として書き下ろした。独語集「校訂版」

極楽浄土の起源
 杉山 龍一 入澤 崇徳 一四三〇円
 ササン朝(ペルシア)時代の王の東國(東)の遺跡に表れたモティーフを図像学・比較文化論の視点から考究して、極楽のイメージを探究する。

報恩講をひもとく
 報恩講をひもとく。報恩講をひもとく。報恩講をひもとく。

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入ル
 TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
 表示価格は全て税込 新刊メール配信中! お買上16,500円(税込)以上送料無料

重版出来
「俱舎論」とその諸註釈における三世実有論批判の研究
 那須 元昭 定価12,100円(税込)
 アビュルム仏教の最盛期の学説綱要である「俱舎論」において、世親が、経量部の現在存無体論の立場から、説一切有部に對して行った批判について、説一切有部の三世実有論に對して行った批判について、説一切有部の三世実有論に對して行った批判について。

最新刊
鏡如上人(大谷光瑞)及び弟子裏方年譜
 赤松 徹真 定価15,400円(税込)
 本年譜は、本願寺教団の管長・宗主として多角的な視野と構想により、教団を統率・運営し、内閣顧問などにも就任した鏡如上人(大谷光瑞)と、総務として各地の仏教婦人会の結成や活動に尽力した弟子裏方の事績を編纂したもの。

《浄土真宗本願寺派》洋譜・三帖和讃
 潮留 進 定価4,180円(税込)
 本書は、全和讃のうち、唱読分326首を五線譜に採譜し、半すなわち8つに分割し、2題は別として、1首を4行に採譜し、旋律を分類、整理したもの。25年ぶり待望の復刊。

永田文昌堂 600-8342 京都市下京区花屋町通西洞院西入
 TEL 075-371-6651 FAX 075-351-9031